

## 第4回学術集会報告

第4回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会

会 長 齊藤 喬雄

福岡大学医学部総合医学研究センター

副 会 長 中島 衡

福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学

事務局長 笹富 佳江

福岡大学病院血液浄化療法センター

第4回学術集会を、平成26年3月29日、30日の両日、福岡国際会議場で開催致しましたところ、全国から約600名の方にご参加いただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

腎臓リハビリテーションは、慢性腎臓病（CKD）に罹ったり、透析療法を受けている患者さんの生活の向上を考える上で大変重要ではありますが、まだ十分に知られている治療手段とはいええないようです。そこで今回の学術集会では、そのあり方を明確にすることを目的に「腎臓リハビリテーションの確立を目指して」をテーマおよび会長講演の演題とし、そのことを念頭に、招請講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、ランチョンセミナーなどを、基礎から実践的な面に至るまで幅広く企画致しました。一般演題には、105題のご応募をいただきまして、大変

感謝しております。口演発表の他、写真にも示したようにポスターセッションや体験教室でも多数の方の熱心なご参加があり、盛況だったことをうれしく思います。

今回は、九州で初めての学術集会であり、九州における会員の先生方にはプログラムの作成をはじめ、さまざまな面でご協力をいただき誠にありがとうございました。不備な点が多く、ご参加の皆様にはご不便をおかけしたと思いますが、桜が満開の時期とも重なり、華やいだ雰囲気の中かで無事学会が終了したことに免じ、お許しをいただきたいと存じます。今後の腎臓リハビリテーションに関する研究や診療が、今回の学術集会をきっかけとして一層発展するよう祈念しております。

